

全国初、愛南町家串湾の貝類養殖筏でJブルークレジット®認証取得 ～連携する5者で協議会も設立～

プレスリリース愛総発第11号

令和5年12月22日

愛南漁業協同組合
家串真珠母貝生産組合
国立大学法人愛媛大学南予水産研究センター
愛南町役場
丸紅フォレストリンクス株式会社

令和5年12月11日、愛南漁業協同組合、家串真珠母貝生産組合、国立大学法人愛媛大学南予水産研究センター、愛南町役場が共同で取り組む「未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～」について、ジャパンプルーエコノミー技術研究組合（JBE）（※1）が運営するJブルークレジット認証®（※2）の認証を受けました。

本認証は、令和2年度にJブルークレジット認証®制度が創設されて以来、全国初の貝類養殖筏での認証であり、四国でのブルーカーボン認証は初（第一号）となります。真珠母貝養殖事業者の日常的な施業がブルーカーボンの生成に寄与していると評価された画期的な内容であり、政府が進めるカーボンオフセット（※3）の推進にも寄与する取組です。

上記4者は、丸紅フォレストリンクス株式会社の協力の下、昨年からの藻場の計測やデータ解析、JBEへプロジェクト登録及びクレジット認証を申請し、10月31日に開かれた審査認証委員会での審議を経て、下記のとおりクレジットの認証を受けました。

また、上述の5者による協議会を設立し、JBEと連携して購入者の公募・販売を進めてまいります。クレジット販売によって得られる資金は、脱炭素社会への取組、環境保全や真珠産業の保全・活性化だけでなく、持続可能な水産業の確立や水産人材育成など、愛南町の海業（うみぎょう、※4）の取組にも活用し、町全体の活性化を図ってまいります。（詳細及び注釈は裏面参照）

記

■プロジェクト及びクレジット認証の概要

(1) プロジェクトの名称

未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～

(2) 実施場所

愛媛県愛南町家串湾

(3) プロジェクト申請者

愛南漁業協同組合（代表）、家串真珠母貝生産組合、
国立大学法人愛媛大学 南予水産研究センター、愛南町役場

(4) 認証クレジット量

5.9 t-CO₂

以上

(裏面)

■設立する協議会について

(1) 目的

「未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～」により創出されたクレジットの販売方法・活用方法のスムーズな決定を行うこと。

(2) 構成員

愛南漁業協同組合、家串真珠母貝生産組合、国立大学法人愛媛大学南予水産研究センター、愛南町役場、丸紅フォレストリンクス株式会社

※1 ジャパンブルーエコノミー技術研究組合(JBE)

沿岸域における気候変動対策を促進し、海洋植物によるブルーカーボンの定量的評価、技術開発及び資金メカニズムの導入等の試験研究を行うため、2020年7月に設立された国土交通大臣認可の技術研究組合。

※2 Jブルークレジット認証®

JBEが独立した第三者委員会による審査・認証を経て発行・管理するボランタリークレジット*。JBEは、ブルーカーボン生態系のCO₂吸収源としての役割とその他の沿岸域・海洋における気候変動緩和と気候変動適応へ向けた取組みを加速するため、新たなクレジットとしての「Jブルークレジット認証®」の審査認証・発行へ向けた制度設計等に関する研究開発に取り組んでいる。

*ボランタリークレジット

各国・地域における規制や制度に必ずしも基づかない、企業の自主的な活用が前提で運営されている制度に基づくカーボン・クレジットのこと。

※3 カーボンオフセット

市民、企業、NPO、NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で排出削減・吸収量等を購入することまたは他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部または一部を埋め合わせること。

※4 海業(うみぎょう)

令和4年3月に閣議決定された水産基本計画及び漁港漁場整備長期計画に導入された用語。自民党の水産政策推進議員協議会(座長:小泉進次郎衆議院議員)において「海の地方創生」と位置付けられ、関係省庁の協力と連携の下、強力に推進していくこととされている。愛南町は、令和5年3月に全国12の「海業振興モデル地区」の1つとして、中四国地方で唯一選定されている。

【お問合せ先】

愛南漁業協同組合、家串真珠母貝生産組合(担当:前田)

電話 0895-72-6600/FAX 0895-73-7710

メール c.uchiumi@jf-ainan.or.jp

住所 愛媛県南宇和郡愛南町御荘平城1番地20

国立大学法人愛媛大学南予水産研究センター(担当:高木)

電話 0895-82-1028/FAX 0895-82-1026

メール takagi@agr.ehime-u.ac.jp

住所 愛媛県南宇和郡愛南町船越1289番地1

愛南町役場 水産課海業推進室(担当:清水(陽)、浜辺)

電話 0895-82-1376/FAX 0895-82-1110

メール umigyo@town.ainan.ehime.jp

住所 愛媛県南宇和郡愛南町船越1289番地1

丸紅フォレストリンクス株式会社(担当:伊藤)

電話 050-3491-1890

メール moeka-itoh@marubeni-flx.com

住所 東京都千代田区大手町1丁目4番2号

未来に繋ごう！真珠のふるさと愛南町～幹縄筏が生み出すブルーカーボンプロジェクト～

申請主体：愛南漁業協同組合、家串真珠母貝生産組合、国立大学法人愛媛大学、愛南町役場

◆プロジェクト概要

- ✓ 愛南町は日本一の真珠母貝（アコヤガイ）生産量を有していますが、ウイルスによる大量斃死や漁業者の高齢化、後継者不足などにより真珠産業の存続は危機的状況です。
- ✓ さらに、真珠母貝養殖に使用する筏（幹縄筏）には、アコヤガイの養殖に支障となる海藻マメタワラが毎年繁茂します。漁業者は、これを日常的に除去し、同海域の『藻捨て場』と呼ぶ区画に移しています。
- ✓ このような漁業者の日常的な管理が、実はCO₂を効率的に海中へ移送するブルーカーボン創出源であると捉えたプロジェクトです。

◆プロジェクトの特徴・PRポイント

- ✓ 貝類養殖筏では**全国初、四国第一号**となるJブルークレジット認証
- ✓ **産業活動そのものが脱炭素社会に貢献**すると再評価した先進的取組
- ✓ 取得したクレジットは、**環境保全**や**真珠産業の保全・活性化**に活用します。加えて、持続的な水産業の確立や水産人材育成など、愛南町の**海業（うみぎょう）**の取組にも活用し、**町全体の活性化**を図ります。



海浜清掃



水産人材育成
(ぎょしよく教育)



藻捨て場に運ぶ
漁業者



真珠母貝表面の
洗浄作業

愛南町は真珠母貝養殖の継続で
持続可能な脱炭素社会を実現します



幹縄筏のマメタワラ



養殖される真珠母貝